



# **会計監査を理解するセミナー**

## **～内部統制編～**





# JSOX対応を効率化する



# 内部統制の目的は大きく4つあるが、JSOXの目的は「財務報告の信頼性」にある

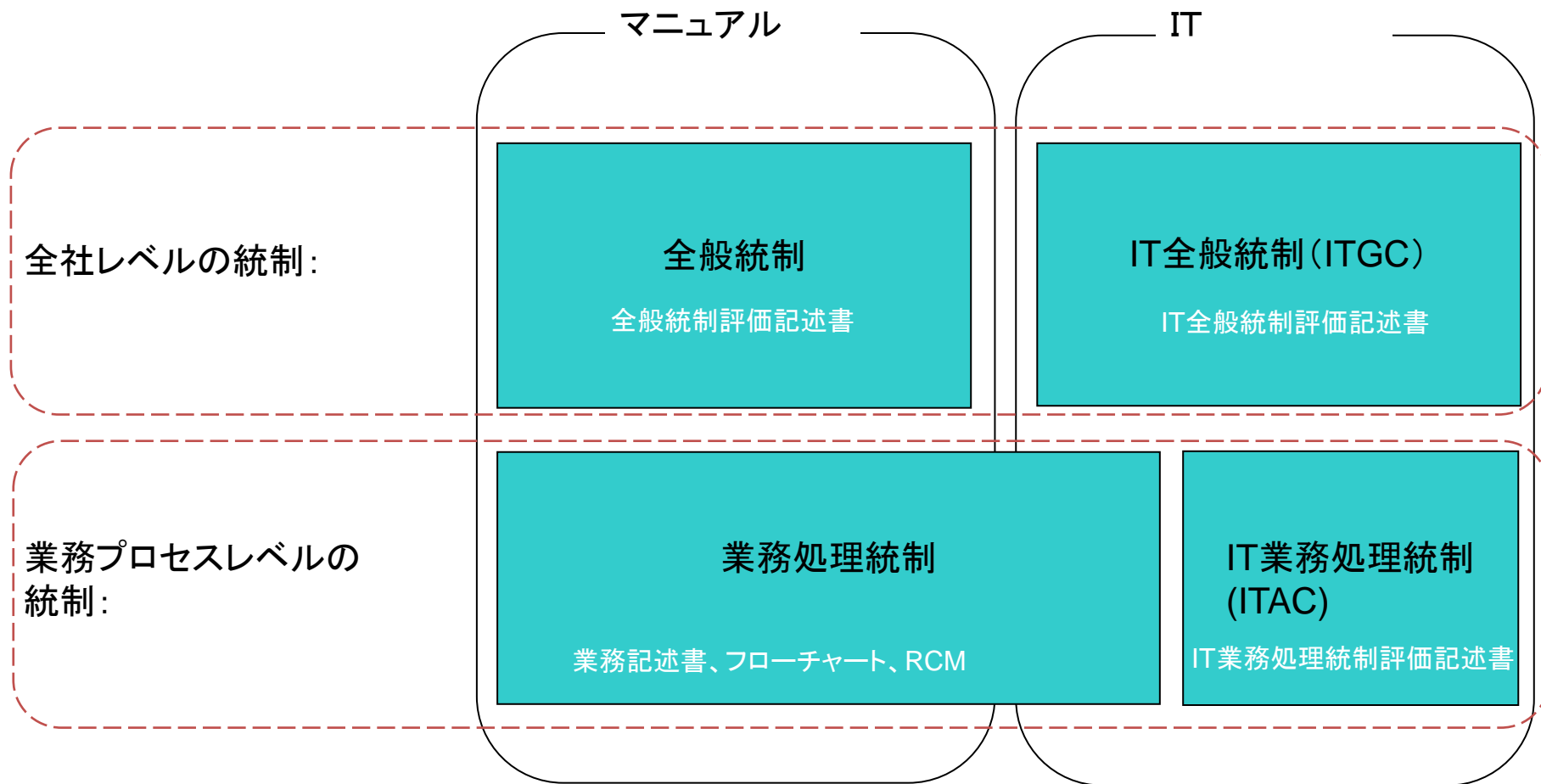


業務の有効性 または効率性	財務報告の 信頼性
法令等の遵守	資産の保全

財務報告の信頼性  
を担保する内部統  
制を確立することが  
重要！



# 全般統制評価記述書、3点セット(業務記述書、フローチャート、RCM:マニュアル、IT両方)がJSOX対応の成果物

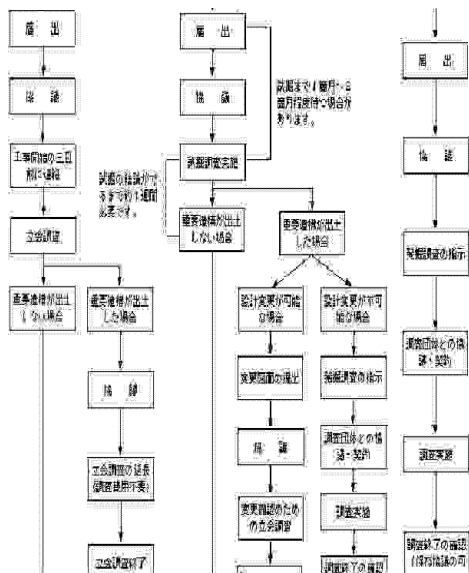




# アサーション(監査要点)とコントロールを網羅した文書化がされなければ、いくら文書を作成しても意味がない。



## 【ダメなフローチャートの例】



実務作業を正確に記述してもダメ。

目的は必要とされるアサーションを網羅することであり、アサーションをクリアできるコントロールを意識した文書化が重要。

目的は財務報告の信頼性を確保する点にある。

この点がJSOX対応効率化の重要なポイント。



監査をクリアすることとはアサーションを網羅することであり、アサーションに対するコントロールを整備することである。細かい手続を詳細に文書化することではない。



### J-SOXの目的

財務報告の信頼性を確保できる内部統制を構築し、適正に運用できていることを文書に残し、内部統制報告書を作成する。

**OK!**

- ①アサーションを網羅すること
- ②アサーションに対するコントロールを整備すること

**NG!**

業務に沿って忠実にフローチャートを描きだすこと



アサーションとは要するに以下の6つのことであり、従来から監査要点とされていた項目である。したがって、これを満たすことがJSOX対応の目的となる

---



- **実在性**
  - 資産及び負債が実際に存在し、取引や会計事象が実際に発生していること
- **網羅性**
  - 計上すべき資産、負債、取引や会計事象をすべて記録していること
- **権利と義務の帰属**
  - 計上されている資産に対する権利及び負債に対する義務が企業に帰属していること
- **評価の妥当性**
  - 資産及び負債を適切な価額で計上していること。
- **期間配分の適切性**
  - 取引や会計事象を適切な金額で記録し、収益及び費用を適切な期間に配分していること
- **表示の妥当性**
  - 取引や会計事象を適切に表示していること



リスクコントロールマトリクスが、要点と業務を結びつける帳票であるため、一番の肝となる。また、作成に最もスキル・経験が必要となる



リスクコントロールマトリクスで要求される作業

リスクと統制の対応(例)

③

業務	リスクの内容	統制の内容	要件							評価内容
			存在性	完全性	権利と職務の帰属	評価の妥当性	期間配分の適切性	表示の妥当性	評価	
受注	① 受注入力の際の金額を誤る	② 注文書、出荷指図書は、販売部門の入力担当者により注文書と照合される。全ての注文書と出荷指図書は、販売責任者の承認を受けている	○	○					○	-
受注	与信限度額を超過した受注を受ける	受注入力時、与信先リストに登録されている与信先からの注文のみ入力できる				○			○	-
...										
出荷	出荷依頼と異なる商品もしくは数量を発送する	出荷部門の担当者により出荷指図書と商品が一致しているか確認される	○		○				△	不規則的な出荷に担当者に対応できなかった。
出荷	出荷指図書の日付よりも前に商品が出荷されない	出荷指図書の日付と出荷報告書の日付が照合される					○		○	-

- ①適正な財務報告を確保する内部統制の関係するリスクを洗い出し、
- ②①のリスクに対応するチェック体制＝統制を対応させ、
- ③②の統制と要件(アサーション、監査要点)を関連付け、
- ④要件(アサーション)を網羅しているかどうかを確認し、不足している要点(アサーション)があれば、それをカバーする統制を新たにオペレーションとして追加する



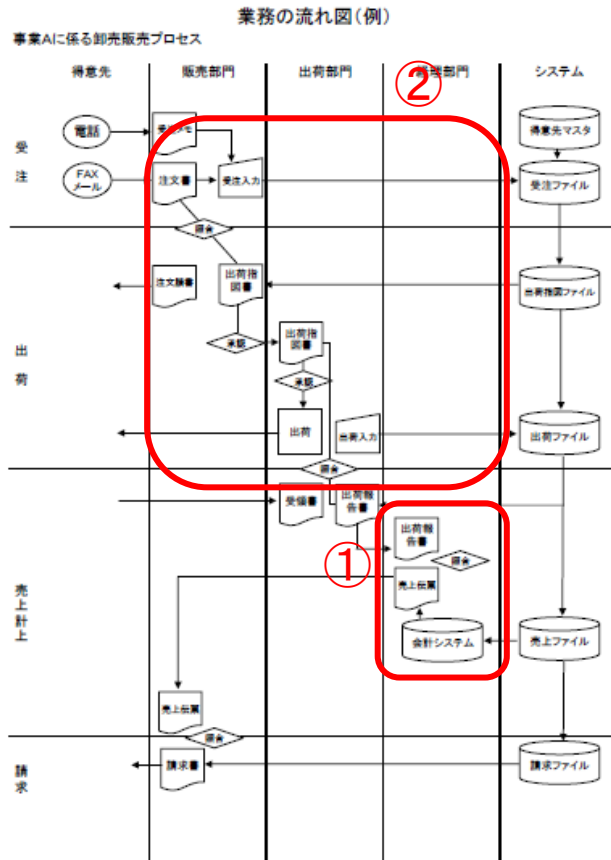


# 適正な財務報告を確保する内部統制を構築するためには、大きく分けて以下の2つのリスクを抑える必要がある



適正な財務報告を確保するためにとらえておくべきリスク

(参考 2)



(注)より詳細な記述を要する場合には、表中に注記を行ったり、次頁の業務記述書(例)を別途、作成することも考えられる。

J-SOXの目的である「財務報告の信頼性を確保するための内部統制」を構築するためには、大きく下の2つのリスクを抑える必要がある。

- ①会計システムに流し込まれるデータがモノ・帳票の流れと一致していることが相互チェックされており、適切な承認過程を経ていないかもしれない、要するに「会計システムに正しい情報が入力されないかもしれないリスク」
- ②そもそもの取引自体が適切なチェックを受けていないかもしれない、要するに「適正な取引がされていないかもしれないリスク」





# JSOX対応以外の内部統制監査





## 売上の3分の2

- 財務諸表監査の内部統制における重要な拠点の判定は別にされる

## 売上、売掛金、棚卸資産

- 人件費や固定資産プロセスの内部統制を監査されているのは何故か？